

# 年末年始を無災害で過ごすために ～災害発生状況をまとめました～

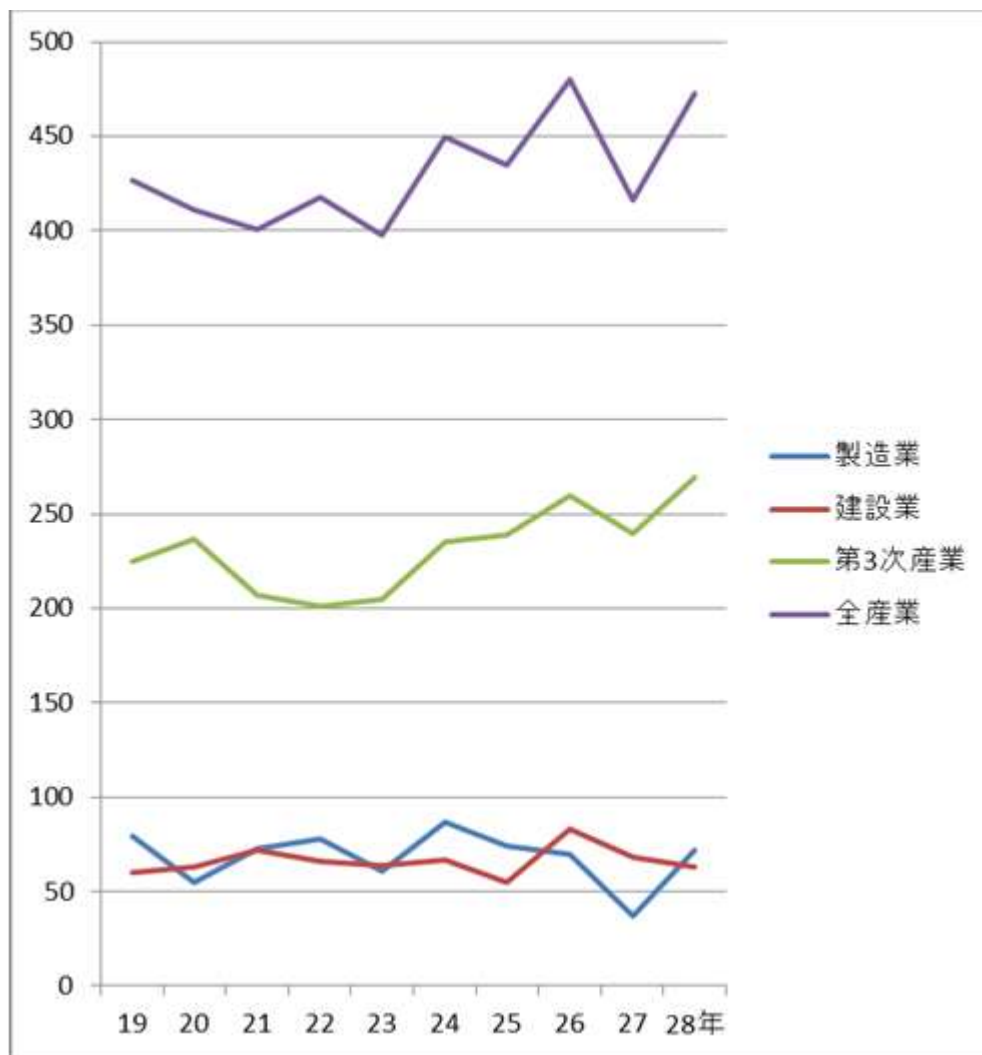
年末年始になりました。

仕事量の増加、気象条件や交通事情等作業環境の変化とともに、設備の点検、補修、清掃等非定常作業等が多くなり、労働災害の増加が懸念される時期となりました。

年末年始を無事故で過ごす参考のために、那覇労働基準監督署では、今年これまでの災害発生状況(11月までの速報値)をまとめました。

- ① 過去10年間の、那覇労働基準監督署管内の休業4日以上の災害発生件数の推移をまとめたのが、グラフ1です。

グラフ1 那覇監督署管内の災害発生件数(休業4日以上のもの)

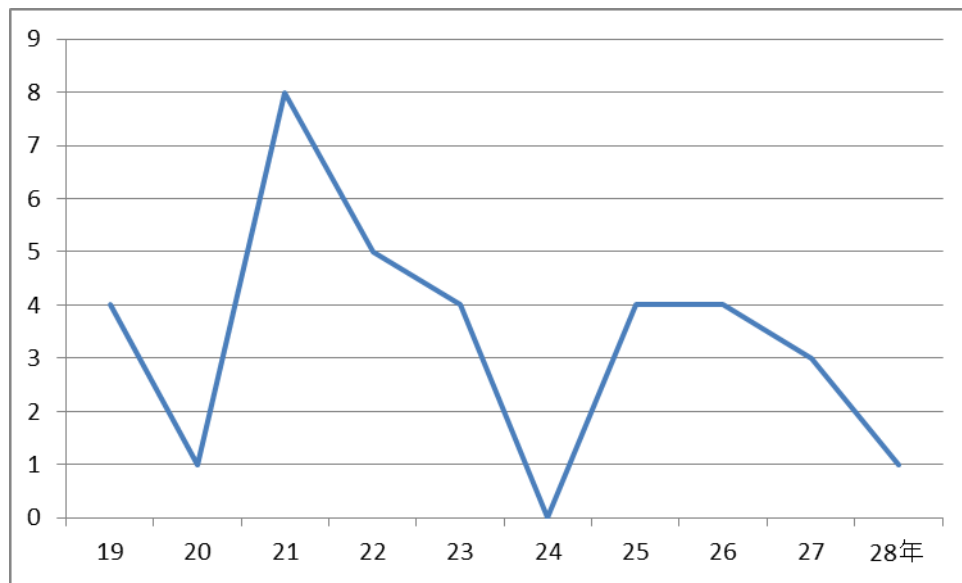


製造業は、増減を繰り返していますが、10年前と災害発生件数はあまり変わっていません。

建設業は、増減を繰り返しながら、災害発生件数が少しずつ増加しています。  
第3次産業は、ここ10年間で、災害発生件数が大きく増加してしまいました。  
全産業でも、ここ10年間で、災害発生件数は増加しています。

- ② 過去10年間の、那覇労働基準監督署管内の死亡災害発生件数をまとめたのが、グラフ2です。

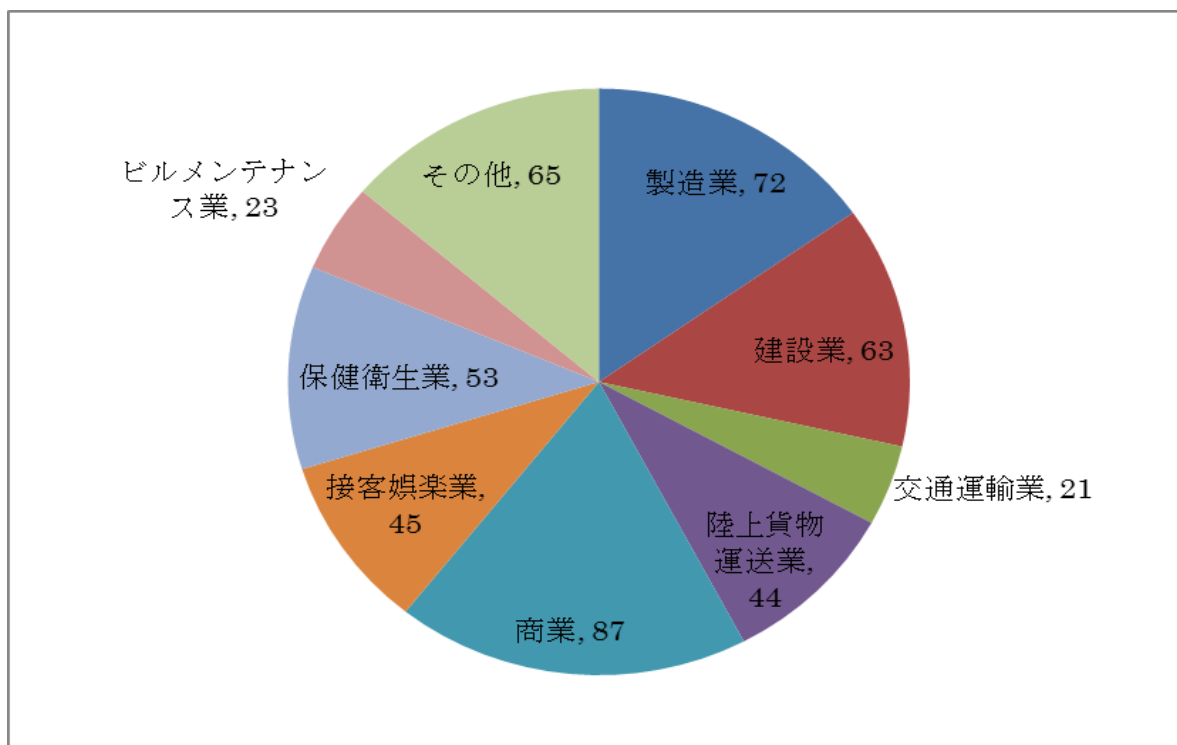
グラフ2 那覇監督署管内の死亡災害発生件数



過去10年の中では、少ない水準ですが、死亡災害が1件発生してしまいました。  
霊園敷地内にコンクリート床を設ける作業において、被災者が敷地内を小型ドラグ・ショベルで移動中、路肩が崩壊し、ドラグ・ショベルごと高さ約9メートルの崖下に転落して死亡したものでした。

- ③ 今年、那覇労働基準監督署管内で発生した休業4日以上災害について、業種ごとにまとめたのが、グラフ3です。

グラフ3 那覇監督署管内の災害発生件数(休業4日以上のもの)



なお、

製造業72件のうち、47件が食料品製造業のものでした。

建設業63件のうち、8件が土木、53件が建築のものでした。

商業87件のうち、47件が小売業のものでした。

接客娯楽業45件のうち、16件が旅館・ホテル、21件が飲食店のものでした。

保健衛生業53件のうち、32件が社会福祉施設のものでした。

中央労働災害防止協会(中災防)と厚生労働省では、平成28年度年末年始無災害運動を実施しています。

平成28年度年末年始無災害運動については、ホームページを御参照下さい。

平成28年度年末年始無災害運動

検索

無事故で締めよう 行く年を 無事故を誓おう 来る年に